

※※2014年8月改訂11

日本標準商品分類番号 8 7 2 3 9 9

#### 口腔粘膜疾患治療剤

# デキサルチン。口腔用軟膏1mg/g

# Dexaltin Oral Ointment 1mg/g

デキサメタゾン製剤

*	承認番号	22000AMX02105
*	薬価収載	2008年12月
	販売開始	1984年 6 月

法〉 室温保存 〈使用期限〉 4年 (チューブ及び外箱に表示)〈取扱い上の注意〉【取扱い上の注意】の項参照

【禁忌】(次の患者には使用しないこと) 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

【原則禁忌】(次の患者には使用しないことを原則とする が、特に必要とする場合には慎重に使用すること) 口腔内に感染を伴う患者

[感染症の増悪を招くおそれがあるので、これらの患者には 原則として使用しないが、やむを得ず使用する場合には、 あらかじめ適切な抗菌剤、抗真菌剤による治療を行うか、 又はこれらとの併用を考慮すること。〕

## 【組成・性状】

## ※ 1. 組成

デキサルチン口腔用軟膏 1 mg/gは、1 g 中に次の成分を含 有する。

有効成分・含有量	デキサメタゾン	1.0mg
添加物	流動パラフィン、ポリア ゲル化炭化水素	クリル酸Na、

#### ※ 2. 製剤の性状

デキサルチン口腔用軟膏 1 mg/gは、白色のなめらかな軟膏 剤で、無臭である。

## 【効能・効果】

びらん又は潰瘍を伴う難治性口内炎又は舌炎

#### 【用法・用量】

通常、適量を1日1~数回患部に塗布する。 なお、症状により適宜増減する。

## 【使用上の注意】

#### 1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を 実施していない。

	頻度不明
口腔の感染症注1)	口腔の真菌性及び細菌性感染症
過敏症注2)	過敏症状
下垂体·副腎皮質系機能注3)	下垂体・副腎皮質系機能の抑制

- 注1) このような症状があらわれた場合には適切な抗真菌剤、 抗菌剤等を併用し、症状が速やかに改善しない場合には 使用を中止すること。
- 注2) このような症状があらわれた場合には使用を中止するこ
- 注3) 長期連用によりこのような症状があらわれることがある。

#### 2. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には長期連用を避け ること。

[妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。]

#### 3. 小児等への投与

長期連用により発育障害をきたすおそれがある。

#### 4. 適用上の注意

- (1) 使用時:使用後はしばらく飲食を避けさせること。
- (2) 適用部位:眼科用として使用しないこと。

## 【臨床成績】

放射線口内炎を主な対象として実施された臨床試験における治 療効果は、著明改善6.1%(3/49)、改善26.5%(13/49)、やや 改善46.9% (23/49) であった。

また、付着性については、付着時間が1時間以上が54.2% (26/48)、「食事中及び食後もついているもの | 54.8% (17/31) であった。

#### ※※【薬効薬理】2)

デキサメタゾンは合成副腎皮質ホルモンで、天然の糖質コルチ コイドと同じ機序により抗炎症作用を発現するが、天然のもの に比べて鉱質コルチコイド作用は減弱されている。

#### 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名:デキサメタゾン (Dexamethasone)

化学名:9-Fluoro-11 β,17,21-trihydroxy-16 α-methylpregna-1,4-

diene-3,20-dione

分子式: C22H29FO5 分子量:392.46

構造式:

性 状:デキサメタゾンは、白色~微黄色の結晶又は結晶性の 粉末である。

> メタノール、エタノール(95)又はアセトンにやや溶け にくく、アセトニトリルに溶けにくく、水にほとんど 溶けない。

## デキサルチン口腔用軟膏 1 mg/g

# ※【取扱い上の注意】

- 1. 使用後はチューブの口及びその周辺に付着した軟膏をふきとった後、キャップを締めて保存すること。
- 2. 安定性試験:最終包装製品を用いた長期保存試験(25℃、相対湿度60%、4年間)の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、デキサルチン口腔用軟膏1mg/gは通常の市場流通下において4年間安定であることが確認された。<sup>3)</sup>

#### 【包装】

2 g×10本、2 g×50本 5 g×10本、5 g×50本

# ※※【主要文献及び文献請求先】

## 〈主要文献〉

- 1) 上野 正他:日本口腔外科学会雑誌,26,1399(1980)
- 2) 第十六改正 日本薬局方解説書 C-2843
- 3) 日本化薬株式会社 社内資料:安定性試験

#### 〈文献請求先〉

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

日本化薬株式会社 医薬事業本部 営業本部 医薬品情報センター (住所) 〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目1番1号 (TEL) 0120-505-282 (フリーダイヤル)

® 登録商標

\*\*\* 製造販売元 **日本化薬株式会社** 東京都千代田区丸の内二丁目1番1号